

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：花の文化園

評価項目	評価基準	令和6年度 評価委員会の指摘・提言等	令和7年度以降	
			改善のための対応方針	事業計画等への反映
I－1 施設の効用を最大限に発揮するための方策	(1) 花に憩い、花に学び、花で交流する場を提供する業務	・来園者数やイベント回数が前年度を上回ったのは評価できる。しかし、イベントの効果について、経年で評価ができるように、イベント開催と来園者数の相関について評価方法を工夫されたい。 ・特別展開催による植物の詳細説明だけでなく、常設の植物の案内表示についても、DXを活用するなど工夫されたい。 ・広報の取組結果について、数値化して成果が見えるように取り組まれない。 ・シルバニアファミリーと連携した音声ガイドンスについて、早期に導入されたい。	・指定管理者と協議の上、イベント開催と来園者数の相関についての評価方法について、検討する。 ・園内の常設の植物樹名板については、植物案内の情報発信できるように対応する。 ・広報の取組結果について、目標となる指標を定め、取組の成果を分析できるように取組む。 ・実施に向けたスケジュールの共有	・常設の植物樹名板についての数の把握と対応した実績の確認。 ・広報の目標数の設置及び広報効果の測定方法の検討。 ・令和7年度事業計画へ反映する。

Ⅱ－１ 収支 計画の内容、 的確性及び実 現性	(１) 事業収支 の計画に対 する妥当性	・目標来園者数の達成をしても 黒字化しない試算となるた め、入園者数だけでなく、収 支管理を含めた指標設定し、 改善が必要である。	・目標来園者数の設定だけで なく、収支についても指標 を指定管理者と共有して、 持続可能な収支計画の妥当 性を検討する。	・収支の指標については、指定管理 者と適宜共有して、持続可能な運 営に向けて引き続き妥当性を検 討する。
----------------------------------	----------------------------	---	--	---